

矢掛町長 あて			現住所		世帯番号			
					宛名番号			
提出年月日			フリガナ		指定番号			
					申告区分			
年 月 日			氏名		個人番号			
			生年月日		世帯主の氏名		続柄	
							業種又は職業	

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

13 社会保険料控除	社会保険の種類	支払った保険料	社会保険の種類	支払った保険料	
	合計				
15 生命保険料控除	新生命保険料の計		旧生命保険料の計		
	新個人年金保険料の計		旧個人年金保険料の計		
16 地震保険料控除	地震保険料の計		旧長期損害保険料の計		
17～19 寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除	17 □ 寡婦控除 ()	18 □ ひとり親控除	19 □ 勤労学生控除 (学校名)	□ 未成年	
20 障害者控除	フリガナ氏名	障害区分	本人障害の程度		
	個人番号				
	フリガナ氏名	障害区分			
	個人番号				
21～22 配偶者特別控除、配偶者・同一生計配偶者	配偶者フリガナ氏名	生年月日	配偶者の合計所得金額		
	個人番号		□ 同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く。)		
23 扶養控除	1	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	控除額 万円
	2	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	控除額
	3	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	控除額
	4	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	控除額
24 扶養親族等 (控除対象外)	1	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	
	2	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	
	3	フリガナ氏名	生年月日	同居・別居の区分	続柄
		個人番号		扶養区分	
扶養親族		年少扶養	障害者(配偶者含)	扶養控除額の合計 (人)	
特定(内同居)老人 一般			(内同居)特障 普通		

別居の扶養親族等がある場合には、裏面「12」に氏名、個人番号及び住所を記入してください。

26 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類
	損害金額	保険金などで補てんされる金額	差し損失額のうち 災害関連支出の金額
27 医療費控除	支払った医療費等	保険金などで補てんされる金額	

1 収入金額等	事業	営業等	ア	
		分離肉用牛		
	農業	イ		
	不動産	ウ		
	利子	エ		
	配当	オ		
	給与	カ	(内専給)	
	公的年金等	キ		
	業務	ク		
	その他	ケ		
2 所得金額	事業	営業等	①	
		免税所得		
	農業	②		
	不動産	③		
	利子	④		
	配当	⑤		
	給与	⑥		
	公的年金等	⑦		
	業務	⑧		
	その他	⑨		
合計	⑩			
総合譲渡・一時	⑪			
合計	⑫			
4 所得から差し引かれる金額	社会保険料控除	⑬		
	小規模企業 共済等掛金控除	⑭		
	生命保険料控除	⑮		
	地震保険料控除	⑯		
	寡婦、ひとり親控除	⑰～⑱		
	勤労学生 障害者控除	⑲～⑳		
	配偶者(特別)控除	㉑～㉒		
	扶養控除	㉓		
	基礎控除	㉔		
	⑬～㉔までの計	㉕		
雑損控除	㉖			
医療費控除	㉗			
合計	㉘			
(㉕+㉖+㉗)				

地方税法附則第4条の5の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の口に「1」を記入してください。
5 給与・公的年金等に係る所得以外(令和7年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市町村民税・道府県民税の納税方法

☐ 給与から差引き (特別徴収)
☐ 自分で納付 (普通徴収)

「個人番号」欄には、個人番号(行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。)を記載してください。

日給などの給与所得のある人で、源泉徴収票のない人は記入してください。

10 総合譲渡・一時所得に関する事項

8 配当所得に関する事項
9 雑所得(公的年金等以外)に関する事項 } を除く

種 目	支払者の「名称」及び「法人番号又は所在地」等	収入金額	必要経費

右上のイの金額を表面のコに、ロの金額を表面のサに、ハの金額を表面のシに記入してください。
右のニの金額を表面の⑪の所得金額欄へ記入してください。

非課税 所得など	番号	所得金額
損益通算の 特例適用前の 不動産所得		
事業用資産の 譲渡損失など	資産の種類	損失額、被災損失額(白)
前年中の 開廃業	開始・廃止	
□他都道府県の手務所等		

通信欄(昨年中に収入のなかった方は該当欄に記入してください)

☐ 同居の親族の扶養(仕送り又は援助)により生活している。(続柄:	☐ 貯金などの財産で生活している。
☐ 下記の者の扶養(仕送り又は援助)により生活している。	☐ 学生であった。
住所	学校名 ()学年
氏名	☐ その他
☐ 遺族年金・障害年金・雇用保険・恩給等で生活している。	
☐ 病気療養中	